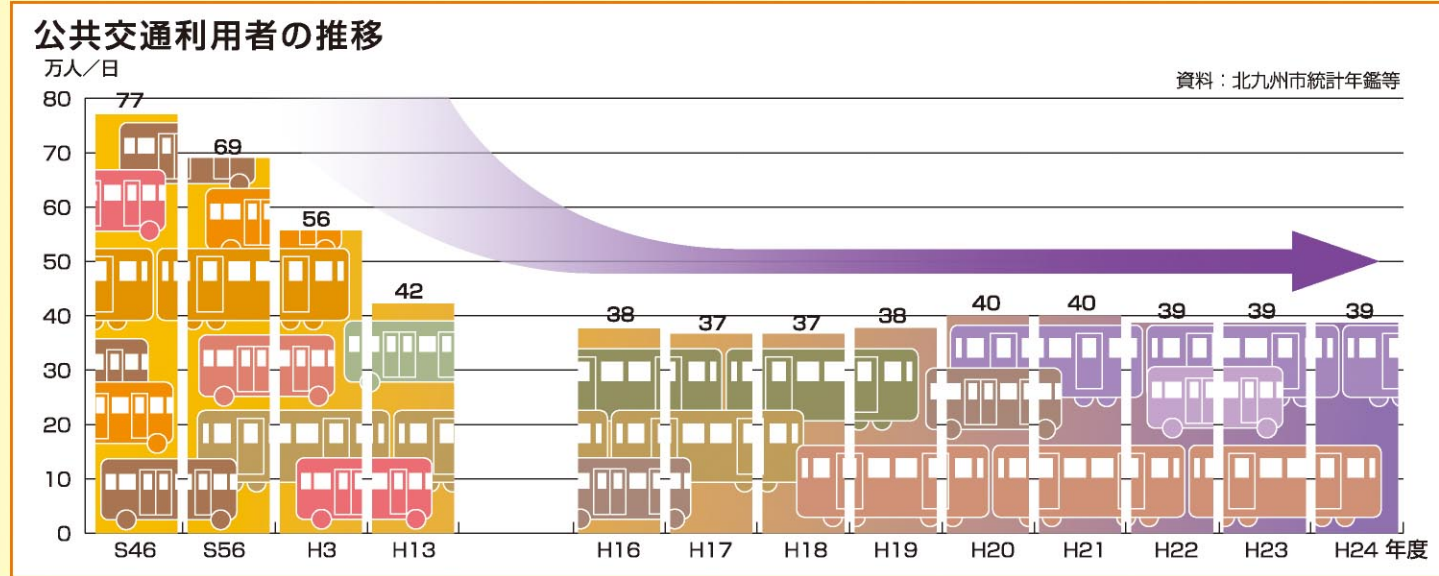


これまでの取り組みによる成果

●公共交通利用者数の減少に歯止め



総合交通戦略改定の概要

現状からの課題

公共交通利用者が、再び減少に転じ、公共交通空白地域が拡大する恐れ

高齢化の進行により、自由に自家用車を利用できない人々の増加

自家用車依存に起因する地球環境への影響

今後の取り組みの方向性

公共交通の利便性をさらに向上させます

「超高齢社会」への対応をさらに充実させます

地球環境にやさしい徒歩や自転車の利用環境を向上させます

施策の更なる充実と継続的な実施を行います。

改定のポイント

- 1.交通施策：策定時の交通施策は継続することとし、今後の取り組みの方向性に沿って、新たな施策を追加して充実させるとともに、重点施策を一部見直します。
- 2.事業展開：市民が施策の効果を実感できるような事業展開を進めます。
- 3.計画目標：当初計画目標値を達成していることから、目標値を上方修正します。

計画目標

- 現在の公共交通が利用できる環境を維持します。(公共交通人口カバー率:80%⇒80%)
- 公共交通利用者の増加を目指します。(公共交通分担率:20%⇒24%)
- 自家用車から排出される二酸化炭素を削減します。(7,000t-CO₂削減⇒42,000t-CO₂削減)

望ましい交通体系の実現

望ましい交通体系の実現を目指すために
みんなができること



問い合わせ先

北九州市 建築都市局 都市交通政策課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
TEL:093-582-2518 FAX:093-582-2503
電子メール:toshi-koutsuu@city.kitakyushu.lg.jp
ホームページ:http://www.city.kitakyushu.jp/